

1. 件名
九州電力株式会社の燃料調達状況に係る行政相談
2. 日時
令和元年10月1日（火）13時30分～13時40分
3. 場所
原子力規制庁 10階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 核燃料施設審査部門
小野安全規制管理官、大島安全規制調整官、田邊係員
九州電力株式会社 須藤上席執行役員 他3名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. 配布資料
資料1：新燃料受入計画について

0:00:01	こんにちは。九州電力の須藤でございます。今日診療
0:00:07	そうですね。名現実的な工程がどうなってるかという御説明に上がりました。それではですね担当の方から資料も踏まえてですね、御説明したいと思います。
0:00:21	では九州電力が九州でございますが、
0:00:24	お手元に当社の新燃料を受け入れる計画についてということで今当社として、燃料をいつごろ系列化っていうことは考えているものをちょっとお示しさせていただいてございます。これは今、
0:00:41	適宜、
0:00:43	メーカーさんいろいろやられてるかと思いますが今当社がどういうスケジュールかというのちょっと情報提供させていただこうということで、今回伺ったものでございます。お手元の資料でございますが、次回の燃料加工について検討を進めてございますということで、
0:01:02	これこれまで加工メーカーの既新規性基準対応によって操業停止期間がありましたので、燃料は先行して納入しはしてございました。次の加工時期として、
0:01:14	ここに書いてございますようにまずやっぱり最初に来るのが川内でございます、その次に玄海 34 号額と、そういう工程でございますと、これ書いてございますように、川内向け燃料を、
0:01:27	2020 年度末
0:01:29	2 加工開始を考えてございます。
0:01:32	(ウ) いたしましたら、
0:01:35	2021 年中に川内発電所のほうに受け入れると、
0:01:41	いうことを考えてございます。
0:01:44	これが仙台の方でございます、まず当社としましては 1000 台を最初に受け入れると考えてございます。
0:01:51	参考でございますが玄海は半年 1 年後ぐらいに玄海 3 号の燃料確保していただきたいと考えてございます。
0:02:02	では、
0:02:02	来強化が下の
0:02:05	メーカーに、
0:02:06	お話させていただく中でもこう自体に合わせた設工認の分割申請とか対応工事期間の短縮
0:02:14	対策などを行って操業再開に向けて取り組んであるというのは聞いてございますので、その旨も含めましてちょっと今回お伺いしたと。

0:02:22	あとN R A殿 4 日かかりましても聞くところによると分割申請の対応とか、効率的な審査、今やっていたらということはお聞いてございますので、
0:02:35	そういう状況であります。
0:02:39	あと今回こういうふうには
0:02:43	この一番下に書いてございますように燃料加工事業者まあこういうことをやってございますっていうのはこちらのマークしてございまして、それを踏まえまして当社はこういう工程を考えている状況でございます。
0:02:56	なのでちょっと簡単でございますが加工メーカーに引き続き、早期の操業債権に絡んで取り組んでもらうようお願いしてございますのでぜひ審査のほうも引き続き、
0:03:09	よろしくお願ひします。
0:03:12	まず説明のほうは以上でございます。
0:04:21	お手元に経営計画、高を示してございますが、2019 年に川内 1 号機の運転計画で定検入ってございまして、
0:04:33	そこでまず燃料集合体を
0:04:37	30 に対して入れて、次の定検まで、
0:04:41	ことで、
0:04:42	特重とございますがその設置期限とございますので、それは運転計画を考えながら進めていくようになるかと思ひますが、お手元のように考えていきますと、
0:04:56	2021 年の定検の
0:04:59	時には、
0:05:01	保有体数がこの記載のような
0:05:04	対数になっていく。
0:05:06	ということでございます。これが川内 1 号機でございまして、川内 2 号機につきましても、
0:05:14	少し定検送れるものの今の対数からいきますと、2021 年の
0:05:22	最後のあたりから定検が入りまして、
0:05:26	新年度の保有体制についても、こういう状況になる。
0:05:31	ということでございます。
0:05:33	以上でございます。
0:05:37	規制庁の小野です。ちょっと確認なんですけど、今の説明にありましたの特重なんですけど、これちょっと余分な話かもしれませんが、設置期限を迎えるとその間に使用前検査に合格しなければプラントの運転停止と。

0:05:54	いう規制委員会の判断が出てると思うんですが、
0:05:57	この運転計画までが燃料調達計画の中にはプラントの運転っていうのも考慮したものとなってるんでしょうか。
0:06:07	九州電力の須藤でございます。特重の運転につきましてははですね規制庁ホウ酸の方に今どのぐらいの状況ですよというのを一度公の場で御説明しております。その時にはセンターにつきましてははですね約1年ちょっと、
0:06:27	設置金から工事がかかりそうだという御説明をしまして、現在ははですね、その工程についての短縮をいろいろ検討しているという状況でございます。
0:06:39	日具体的にいつになるかって話は今のところできないんですけども、それを見込んで大体こんなもんかなというところで見ても大体今のような期限ということになりますので、そこら辺をちょっと御含みおきいただければというふうに考えて、
0:06:59	そうですね趣旨わかりました。はい。
0:07:06	規制庁島でございます。もうすでに公開の資料で出てますけれども一応加工事業者の方ですね出している進捗状況のほうの一応確認だけこちらから説明をさせていただきますけれども、
0:07:24	三菱原子燃料さんのほうは5月の30日の日に審査会合におきまして、審査の進捗状況というものを説明をさせていただいておりますホームページでも公開をしておりますのでまた確認をさせていただければと思いますけれども、
0:07:41	その中で、事業者さんが検討しているのは2020年の8月いっぱいで一応性能検査を終わりたいというご希望をしております。ただ、正直なところで申しますと事業者さんのを示している設工認それから工事。
0:08:00	の予定よりも多少今審査の合格のほうは少し遅れ気味にはなっているというふうには理解をしておりますけどもこっちこれから先のところは事業者さんもいろいろ工夫をされていきますしそれから分割申請の方もですね。
0:08:15	より細かく指定られるべく工事をなんていうんですかね、順調に行われるように効率的に行われるようにというふうに工事計画のCAQ現行しているというふうに聞いておりますので、いろいろ工夫をさせていただいているのかなというふうに思っております。
0:08:32	それから原子燃料工業のを熊取事業所さんのほうですけども、こちらのほうは6月17日の審査会合で、説明をいただいておりますけれどもこちらのほうも例は3年度ですから、2000m、
0:08:53	すみません20年、21円ですねまでには工事計画のほう中盤までには終わるというところがございます、ただこちらのほうまだ分割して申請をし

	<p>ていただいています、</p>
0:09:10	<p>一応国会の申請になってますけど、まだ1次2次で日まだ審査中ですので、そういう意味では、多少先がまだ見えていないのかなというところでありませけれども、こちらのほうも、</p>
0:09:25	<p>事業者さんのほうで昨日ですけれども倒壊事業者さんのほうの進捗を少しおくらせていわゆるリソースを熊取のほうに集中をしてですね。</p>
0:09:40	<p>やっただけということ昨日聞いておりますので、そういう意味では、今後はより良い審議審査におけるその申請のほうのですね、効率的な対応とかですね、それから工事の方もしっかりとやっただけのかな。</p>
0:10:00	<p>いうことで、事業者さんもいろいろ努力をいただいているというふうには聞いております。以上で、</p>
0:10:11	<p>全体のラックしてございますが、ありがとうございます。すいません</p>
0:10:15	<p>確かに事業者の方が適切にやっていくものということで、今日お伺いしたのもそういう状況というのが1伺えればということで、幾つかありました。どうもありがとうございます。今のような状況も確認させていただきながら、</p>
0:10:31	<p>当社としましてもですね、加工メーカーと私どもも</p>
0:10:36	<p>適合性の</p>
0:10:40	<p>経験もあるので、それでフォローしていきながら実施していきたいと考えてございます。</p>
0:10:46	<p>以上でございます。</p>
0:10:56	<p>その面談のほうはさせていただきます。</p>